

学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト
中間報告会資料

若者視点でつくる“立ち寄りたくなる観光拠点” 創出プロジェクト —晴れの国おかやま館・大学生 コラボレーション事業—

山陽学園大学
地域経営LAB

事業の目的

- 山陽学園大学地域マネジメント学部と(公社)岡山県観光連盟が連携し、晴れの国おかやま館で実施する事業
- 大学生が若者の視点から調査・企画・実践を行うことで、同館の「立ち寄りたくなる仕組み」や「SNS等で発信したくなる魅力」を創出する。
- これにより、表町エリアにおける若者の回遊を促すとともに、岡山産品や地域資源の魅力を若年層に広く発信することを目指す。



事業の実施実績

- 2026年5月22日
学生による店舗調査と意見交換
- 2026年6月4日
岡山県観光連盟専務理事他による特別講義
- この間、連盟提案の「蛇口をひねると桃ジュース（ももじゃ）」プロジェクトのPR方法を検討
- 2026年7月2日
学生提案の「桃ジュースの味変」の検討会を実施
- 2026年7月17日
「ももじゃ」オープニング 利用者アンケートの実施
- 2026年9月6日
「桃ジュースの味変」利用者へのアンケート実施



ももじゃ

事業の様子



店舗調査



観光連盟での意見交換



特別講義

事業の様子



味変の検討



ももじゃのオープニング



アンケートの実施

ここまでのまとめと今後の事業予定

ここまでのまとめ

- 晴れの国おかやま館での店舗調査では、店舗のデザインや商品の陳列方法などの問題点を指摘した。指摘の一部は同館で反映してもらったが、今後も改善の手助けをしたい。
- 「ももじゃ」プロジェクトのPRに自分たちの意見を採用してもらい、顧客の関心を引くことができことで、手ごたえを感じる事ができた。
- 後期はもう少し学生の自発性が発揮できる取り組みに挑戦したい。

今後の事業予定

- 「ももじゃ」プロジェクトを通じて得たデータを分析して、効果検証を行う。
- 同館の商品構成の一角を占める民芸品について、事業者とも連携し、その魅力を若者が立ち寄りたくなる方向で再編集し、展示方法の見直しなども含め提案していきたい。

ご清聴ありがとうございました
